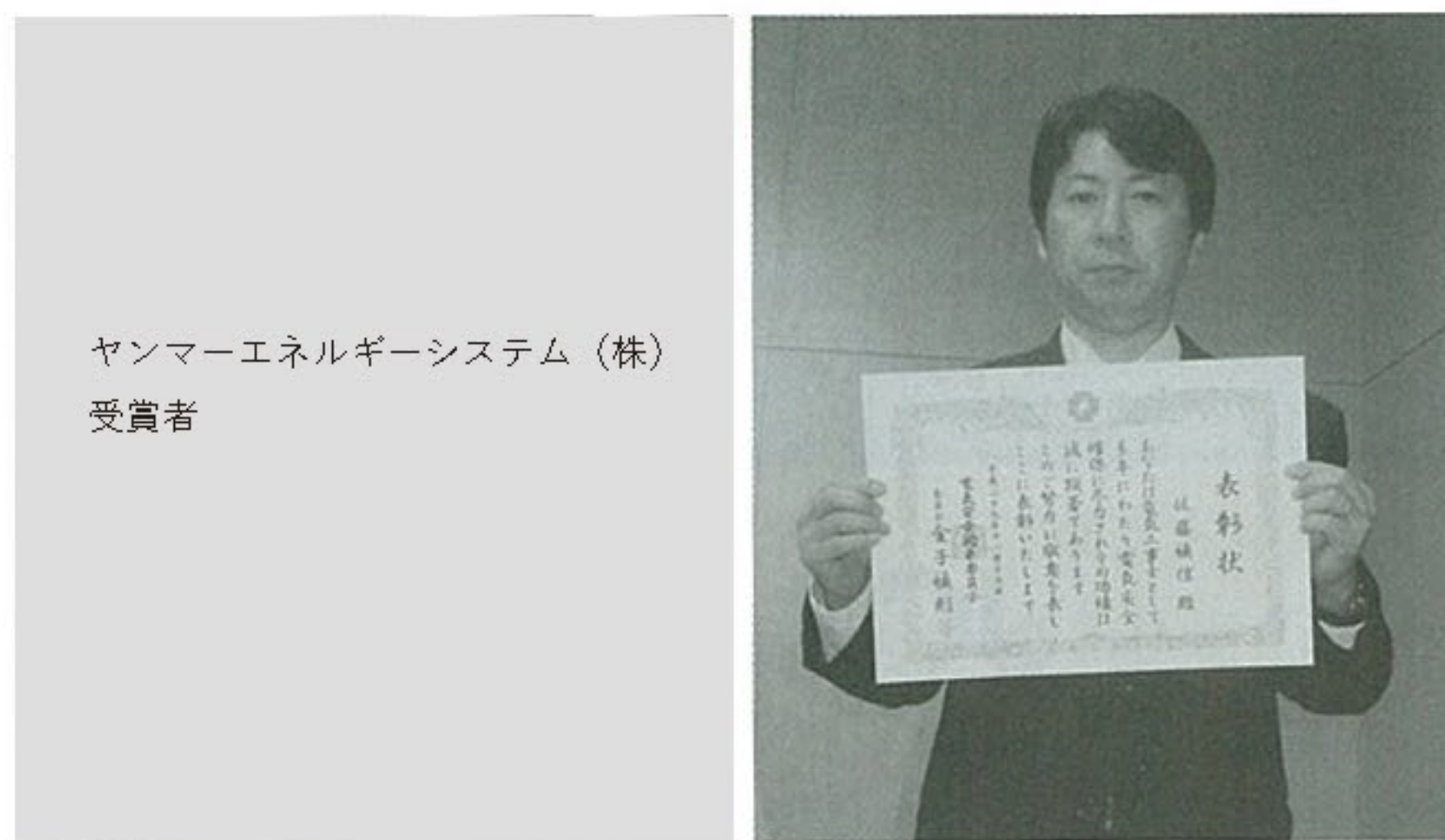


電気安全関東委員会表彰 内発協推薦2名が受賞

電気安全に功績のあった団体・個人を表彰する、電気安全関東委員会（事務局：一般社団法人日本電気協会関東支部）の「電気安全関東委員会委員長表彰」と、産業保安監督部の「関東東北産業保安監督部長表彰」の平成29年度表彰式典が11月13日、さいたま市のさいたま新都心合同庁舎1号館講堂で開催されました。内発協が推薦した受賞者2名を含め、受賞者全員に表彰状と記念品が贈呈されました。



前列左から3人目、今永隆・内発協会長



氏

佐藤禎信氏

内発協推薦の受賞者2名は次のとおり。

【電気工事士の部2名】

- ▼ 氏、ヤンマーエネルギーシステム株式会社、東京都中央区、正会員
- ▼ 佐藤 禎信（さとう・さだのぶ）氏、株式会社辰巳菱機、東京都江東区、正会員

当日は2部構成で、第1部は「関東東北産業保安監督部長表彰式（団体及び個人）」が行われました。今回は個人18件（18名）が受賞しました。

第2部は「電気安全関東委員会委員長表彰（団体及び個人）」が行われました。電気安全関東委員会委員長の金子禎則氏が開会あいさつを述べたのにつき、自家用電気施工者1件（1名）、電気工事業者17件（17名）、電気安全功労者66件（66名）の受賞者84名全員に表彰状と記念品が贈呈されました。

バイオマス・廃棄物を有効活用 スターリングエンジン発電事業

NPO日本スターリングエンジン普及協会（鶴野省三理事長）が主催して、「第11回スターリングエンジン講演会」が10月20日、東京永田町の都道府県会館で開催されました。テーマは小規模分散バイオマスビジネスへの誘い。バイオマスや廃棄物を燃料とするスターリングエンジン発電事業化に取り組む企業から講師を迎え、4件の事業報告を行いました。また鶴野理事長がコーディネーターを務め、参加者からの質問を受けて、講師全員による討論会を行いました。当日は53名が参加しました。

このほど製品化された実用スターリングエンジン「Qnergy PCK80（出力7kW）」を活用するシステム開発や事業化に関するプログラムが中心でした。プログラムは①Qnergy PCK80と当社の事業取り組み（株）エコステージ代表取締役 高橋善計氏）②Qnergy PCK80の性能を最大化するバイオマス燃焼技術と事業化構想（ADMIEXCOエンジン設計（株）代表取締役 宮内正裕氏）③廃棄物（鶏糞等）によるスターリングエンジン熱・発電事業と技術的課題（株）濱田製作所代表取締役 濱田拓氏）④スターリング

エンジン普及に向けた本協会の取り組み（NPO日本スターリングエンジン普及協会副理事長 秋葉武志氏）。

そのうち、高橋氏は、「Qnergy PCK80は、①フリーピストン形であるためエンジン内部に摺動機構がない。②それ故摩擦損失がなく、メンテナンスフリー。③さらに耐久性は6万時間以上の長時間に及ぶ等の長足を有し、事業用エンジンの目安となる約8年連続運転が可能である」との見通しを述べました。

宮内氏は、Qnergy PCK80 のために開発した新しい畜糞燃焼技術を発表し、それを用いた畜糞燃焼炉構想とその採算性について説明しました。

濱田氏は、発電事業に活用するQnergy PCK80の事業開発に取り組んでいる事例について報告。「養鶏場においては大部分が未利用で廃棄されている鶏糞をQnergy PCK80による熱・電併給のコージェネシステムで活用すれば経営改善に加え、環境改善に寄与し企業イメージアップに資する」と述べました。